

BOOK REVIEW

人生のヒント
VOL. 8



このコーナーでは、
毎回異なるブックナビゲーターに、
人生やライフプランを考える上での
ヒントとなる本をご紹介します。

REVIEW. 2 やり抜く力

アンジェラ・
ダックワース 著
神崎 朗子 訳



[ダイヤモンド社刊、2016年
9月、1,728円]

「成功者」と聞くと、スポーツ選手等をすぐに頭に思い浮かべ、きっと生まれながらの才能が一番の要素なのだろうと大部分の方が思うのではないだろうか。私も本書に出会うまでは同じように考えていた。だが、心理学者であり、本書の著者であるアンジェラ・ダックワース曰く、「一番大事なことは、もがきながら一つのことを継続していく力」だそうだ。この経験の積み重ねこそが、成功者に繋がるのだと言う。本書には、子供のこうした能力を伸ばすには親はいかにあるべきかということも述べられている。子を持つ親には、非常に勉強になる1冊である。

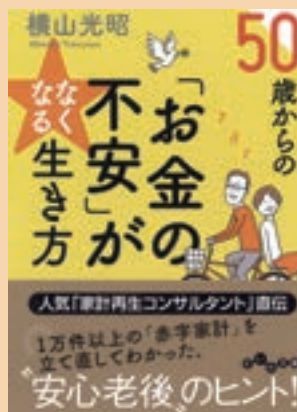
ブックナビゲーター やじまや 谷島屋浜松本店

600坪の店内に、話題の新刊・ベストセラーから専門書・医学書(認定医学書専門店指定店)まで幅広く取り揃える。更に店内にはエクセルシオールカフェを併設して、明るいオープンな読書ラウンジで本を選びながらコーヒーが飲める「Books&Cafe」スタイルでくつろぎの空間を提供する。



REVIEW. 1 50歳からの 「お金の不安」が なくなる生き方

横山 光昭 著



[大和書房刊、2017年8月、
702円]

著者の肩書は「家計再生コンサルタント」という、一風変わったものながら、その実、1万件以上の家計の赤字を立て直した凄腕コンサルタントである。これからの時代は「自分の資産は自分で守る」をモットーに、老後のための貯蓄を「夫婦で1600万円」を具体的な目標とし、それを貯めるためにどういった行動を取っていくべきかを本書は指南している。「老後のお金なんて、若い時から貯めておかなきゃ無理なんじゃ…」と思っている方は必見だ。著者は、50代こそが最大の「貯め期」だと述べている。本書でお金の使い方そのものを改善してみよう。

「学力」の 経済学

REVIEW. 3
「学力」の
経済学
中室 牧子 著



[ディスカヴァー・トゥエンティワン刊、2015年6月、1,728円]

私が大好きな漫画家である浦沢直樹の代表作の中で、ある登場人物が「教育とは実験なのだよ」と言う台詞があった。当時私は高校生であったが、本質を突いた台詞で妙に納得してしまいずっと記憶に残っていた。著者の本業は経済学者であり、教育を数値化し、そのメリットやデメリットを理論的に述べているのが本書である。様々なデータを駆使し、「ゲームは子供に悪影響?」「ご褒美で釣るのはいいの?」といった、今までかなり思い込みがまかり通ってきた教育に、科学的根拠(エビデンス)で展開している内容は、親でなくても納得出来るものである。